

令和8年度 学校における働き方改革推進モデル校事業委託業務  
公募型プロポーザルに関する質疑及び回答

	質疑内容	回答
1	仕様書4(3)① 「原則として改善策は 目標値(成果指標)を数値で設定し」とありますが、本事業で特に力を入れるべき項目及びその数値目標の目安はありますかでしょうか。	時間外在校等時間の削減についてはモデル校全校で取り組んでいただきたいと思いますと考えております。数値目標は各学校の現状に応じて設定することが望ましいですが、令和8年3月に高知県教育委員会が策定予定の「教職員の業務量管理・健康確保措置実施計画」では、令和11年度までに「1年間における1か月時間外在校等時間の教育職員全体の平均時間を30時間以下にする。」「時間外在校等時間が月45時間以下の教育職員の割合を100%にする。」を目標としています。 なお、その他学校から出た改善策についても、原則として数値で目標を立てるよう助言を行ってください。
2	仕様書4(3)⑧ 「令和7年度学校における働き方改革推進モデル校5校に対して、継続して業務改善を進めるために、必要に応じてオンライン等によるフォローアップを行うこと。」とありますが、前年度のモデル校の取組状況はどの程度共有いただけますでしょうか。	令和7年度の受託者から提出された「成果報告書」「各学校の進捗管理シート」を共有します。その他、受託者から必要なデータ等の申出があれば、協議し提供の可否をお知らせします。
3	仕様書4(7)① 「各研修では、生成AIなどICTツールを活用した業務改善事例を紹介すること。」とありますが、県内学校において統一して使えるAI及びICTツールがありましたら教えてください。	教職員については、Google Workspace for Educationの全機能及び、校務支援システム(Groupwre)を使用することが出来ます。 児童生徒については、Google Workspace for Educationが使用できますが、市町村立学校の児童生徒については、市町村ごとに使用できる機能が異なります。県立学校の生徒は、学校によりメール及びチャット機能が使用できません。